

平成31年2月12日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部 広報・渉外課長

平成30年度「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」成果発表会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学では、キャリア教育の一環として平成17年度より「とっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」を実施しています。本プログラムは、将来、社会でリーダーとしての活躍を期待される宮大生の企画する力、実施する力を高めるとともに、学生ならではの自発的かつ積極的な活動を通して、本学から発信した活性化の波を広く地域につなげていくことを目的とした、宮崎大学独自の学生支援事業です。

平成30年度から「特定地域枠」が新設され、今年度は西都市の地域活性化を目指したプログラム3件を合わせた合計17件のプログラムを実施しました。予算総額は600万円です。当日は、ポスターセッション形式により学生が活動成果を発表します。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載して頂くとともに、取材していただきますようお願いいたします。

敬具

記

開催日時 2月20日(水) 10:00 ～ 12:00

場 所 宮崎大学木花キャンパス 330記念交流会館コンベンションホール

対 象 ご興味のあるすべての皆様

参加費 不要

※詳細は別紙をご覧ください

平成30年度

「とっても元気！ 宮大チャレンジ・プログラム」 成果発表会

日時：平成31年2月20日（水）

10:00～12:00

ポスターセッション形式で行います

（12:00～15:00はポスター展示のみ）

**会場：宮崎大学330記念交流会館
コンベンションホール**（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）

1. 宮大、魅せ方改革—学生の学生による学生のためのチャレンジ—
2. PSU受け入れプログラム2 ☆Make a bridge☆ ～看護で繋ぐ地域と世界～
3. BTO (Bridge To the Ocean)
4. 広げよう都井岬の魅力 ～御崎馬を困む野生動物たち～
5. 第5回宮崎ひまわりキャンプ
6. みやたま救食プロジェクト
7. Saka-valley everybody joyfully～日南市酒谷地区地域国際化計画～
8. 目指せ！ボッチャ日本一!! ～行こう！2020年東京パラリンピックへ！～
9. 吹奏楽で地域貢献プロジェクト
10. 宮大から地域活性戦略～VRプロジェクト～
11. 遊んで学ぼう！未来の化学者たち！
12. 宮崎の野生動物を調査し、家畜と農家に安全と安心をお届けしよう！
13. 気まぐれサイエンティック ～香り立つ宝石Ver.～
14. 宮崎の農家に潤いを！水やりは、僕らにお任せ!!

西都市粋

1. Look at the world, start with Saito.
2. 西都食材の魅力を科学する
3. 夏の工作合宿 & YTG

お問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課キャリア支援係

TEL:0985-58-7796 E-mail:syusyoku@of.miyazaki-u.ac.jp



平成30年度「とっっても元気！宮大チャレンジ・プログラム」採択17企画（うち西都市枠3）の概要

No.	企 画 名	代表学生所属	概 要(各企画の企画書より)
1	宮大、魅せ方改革 —学生の学生による学生のためのチャレンジ—	教育文化学部	多くの宮大生は宮崎大学に対して「ださい」等マイナスイメージを持っている。我々はこの3年間で、より良い「ミヤダイらしさ」を見出し、卒業前に従来のイメージを変えたいと考えた。具体的には、宮大らしい雰囲気や醸成する空間として、宮崎大学の目玉スペースを学内に期間中設ける。さらに、学生に宮崎大学をより楽しんでもらい、学生の持つ上記のようなマイナスイメージをプラスイメージへ改革する。
2	PSU受け入れプログラム2 ☆Make a bridge☆ ～看護で繋ぐ地域と世界～	医学部	2週間の医学部看護学科とタイ国のプリンスオブソクラ大学(PSU)と交換研修を通して、医学科生・他学部生を巻き込みながら、医療面のみならず異なる意見交換をし、多面的な文化理解を目指す。また、宮崎の地域特性を踏まえた地域医療のありかたについて住民イベントに参画しながらの体験学習を行う。
3	BTO (Bridge To the Ocean)	農学部	研究分野や専門分野の難しい事柄を、世間一般に分かりやすく伝える。そして社会全体で科学を考えるという、専門分野と一般社会の双方の架け橋となる“サイエンスコミュニケーション”を主軸とした企画である。BTOではこれを、海をテーマにサイエンスプレゼンコンペやミニ水族館開催を通じ挑戦するものである。
4	広げよう都井岬の魅力 ～御崎馬を囲む野生動物たち～	農学部	都井岬の森林地帯と草原地帯に生息する野生動物の調査を行う。自動撮影カメラを用いて野生動物の生きる姿を撮影し、それを基に外国人観光客向けの都井岬のパフレットを作成・配布する。そうすることで宮崎を訪れる外国の方に、宮崎の自然の素晴らしさを知ってもらう。
5	第5回宮崎ひまわりキャンプ	医学部	当団体は、医学部生を主体とした小児がん経験者とその家族を支援する団体です。経験者が一堂に会する機会をつくり、医師の同伴のもとで医療安全に配慮したキャンプを企画することで、経験者のQOLの向上をはかることが目的です。本年度は、10月のデイキャンプ、12月の冬のひまわり会を主なイベントとし、その他にも小児がんの啓蒙活動や病棟支援等の活動を行っています。
6	みやたま教食プロジェクト	地域資源創成学部	本プロジェクトでは、一人暮らしの大学生の食生活の偏り、豊富な県産食材の栄養価に着目し、簡単に栄養価の高いレシピの開発、普及を目的としている。簡単に栄養価の高いレシピを開発することで、一人暮らしの大学生の栄養バランスへの意識向上や県産食材のPRによる地域の活性化が見込まれる。
7	Saka valley Everybody Joyfully ～日南市酒谷地区地域国際化計画～	地域資源創成学部	日南市酒谷地区で行われる収穫祭に宮崎大学の日本人学生と留学生が参加する。収穫祭では、蕎麦打ちや餅つき、おにぎり作りなどを地域の方たちや棚田オーナーの方たちと一緒に体験する。また、宮崎大学留学生の持ち込みイベントとして、ハラームの料理法で料理を作ったり、みんなで一緒にゲームをしたりする。これらによって、互いの文化の違いを楽しみながら実際に体験し、理解を深めようとするものである。
8	目指せ！ポッチャ日本ー!! ～行こう！2020年東京パラリンピックへ！～	工学部	本企画はポッチャという障害者スポーツで使用するランプ（ボールを転がすための坂道）など個人用具を製作し選手の支援を行うことで、障害がある方々への理解を深め、障害者支援を行っていく。選手の個性に合わせてカスタマイズした道具を製作することで、地元選手をサポートし、ともに2020年東京パラリンピック出場を目指す。
9	吹奏楽で地域貢献プロジェクト	農学部	宮崎大学吹奏楽部として、これまでの地域貢献や青少年育成に関する様々な取り組みに加えて、音楽体験等を含むイベント「キッズコンサート」を330記念交流会館で開催することで、大学や地域の活性化と宮崎の青少年の育成をおこなっていく。
10	宮大から地域活性化戦略 ～VRプロジェクト～	工学研究科	本企画では、カメラから取得した映像を基に動物園で飼育されている動物の目線をスクリーンやタブレット画面上、VRに再現する事で来園者に動物園の新しい楽しみ方ができるシステムを提供する。また、普段は外に出ることが出来ない入院患者の方々にVRを体験して頂くことで、実際に動物園に行ったような感覚を楽しんでもらう。
11	遊んで学ぼう！未来の化学者たち！	工学部	子供たちの理科離れが進んでいる中山間地域（串間市他）の地域活性化を目的に、小・中学生向けの理科実験イベントを企画し、出前講座を実施する。イベントを通じ、理科の楽しさを体験してもらい、子供たちの理科離れに歯止めをかけるとともに、地域の方にも運営を協力してもらい、イベントの定着を目指すことで地域活性化に貢献する。
12	宮崎の野生動物を調査し、家畜と農家に安全と安心をお届けしよう！	工学部	本企画では畜産農家の家屋の周辺をモニタリングし、野生動物を検知するシステムの構築を行う。畜産環境では防疫や施設管理の観点から、家畜へ侵入する性質を持つ野生動物が重要な管理対象となる。野生動物が映ったところを画像解析し、家畜に影響を与える野生動物を特定することによって、今後の獣害対策に活用してもらう。
13	気まぐれサイエンティック ～香り立つ宝石Ver.～	農学部	本プログラムでは、「化学を通して、宮崎県で活躍する人材を育成するきっかけ作り」を目的とし、身近な植物の「香り」をテーマにした実験を実施する。普段なかなか行う機会のない実験を通して、化学の面白さを改めて高校生や私たちが知ることで、好奇心と自発性を刺激し、化学を用いて宮崎を活性化するような人材を育成するきっかけ作りを目指す。
14	宮崎の農家に潤いを！水やりは、僕らにお任せ!!	工学部	マンゴー・大根など宮崎では農作物の生産が盛んである。しかしながら、宮崎の農業従事者は高齢化が進行しており、農作物の生産が困難になっている。そこで、その方々の負担を減らすべく、本企画では水やりの作業に注目し、この作業の負担を削減するための湿度を計りながら自動で水を散布するロボットを開発し、宮崎の農業への貢献を図る。
西都市1	Look at the world, start with Saito.	農学部	西都市をMiyazaki International Club(以下、MIC)メンバーと留学生が訪問し、西都市の高校生と交流する。西都市の若者が留学生との様々な体験を通じて、西都市から世界を視野に考えるきっかけを提供し、宮崎大学のモットーを実現する。今回、MICメンバーは留学生と高校生の橋渡し役として、両者が円滑にコミュニケーションをとる手助けを行う。
西都市2	西都食材の魅力を科学する	農学研究科	本プログラムでは、西都市の恵まれた気候で育まれた農産物が有する機能を“科学”の力を駆使して調べ、その結果を社会に発信していくことを通じて、地域の活性化に貢献したいと思えます。アピールポイントは、西都市の農産物を評価し、科学的根拠に基づいて試作した加工品を地域の方に評価してもらう点です。
西都市3	夏の工作合宿 & YTG	農学部	西都市銀鏡で夏の工作合宿では県内の小中学生を対象に夏休みの工作やプレハブ小屋の装飾を銀鏡の山村留学生と一緒に行う。YTGでは(株)かぐらの里と協力して、いろんな所から人を集めてゆずの収穫体験を活用した競争イベントを開催する。